



2013.3
VOL.60



2/14(木)~15(金)JA全国青年大会 於：東京「日比谷公会堂」

2012年度

この一年の総括



24年度をふりかえり

佐田 長

我々青年部は、これまで地域農業の中核的な担い手として、様々な営農活動に真摯に取り組んできました。農業の最大の役割である安

な活動に取り組んできましたが、ご参加下さった盟友の皆様、ご協力ありがとうございました。ございました。

全で安心な農畜産物の生産に努めるとともに、農業者の先頭に立ち、農政活動を展開してきました。地域住民や一般消費者、そして次

なるのは、東日本大震災と原発事故による放射能汚染問題であり、我々の生活や農産物生産活動に大きなダメージを与えているという

世を担う子供たちとの交流を実践し、食料自給率向上の必要性、農業の持つ多面的機能など、農業の重要性を広く訴えてきました。

また、T P P交渉参加問題や農業従事者の高齢化問題など、農業、農村をめぐる情勢は依然厳しいままであると同時に、我々青年部盟

は、上京運動での稲作指導、庄内の自然を満喫できる田舎まるかじりツアーの実施、

友への期待と役割は、ますます大きなものとなっております。と思えます。

農林水産祭りへの参加など、積極的に農政活動に取り組んできました。他にも様々

いずれの問題や課題も、青年部活動に参加してこそ共有できるものです。これ



からも盟友の皆様のご参加とご協力をお願いするとともに、我々自らが農業の素晴らしさと大切さを再度確認するとともに、あらゆる課題を解決していくために、盟友一丸となって行動していきましょう。



6/19(火)上京運動先生方との交流会

上京運動と田舎まるかじりツアーを振り返って

農政部は二大事業でありまず上京運動と田舎まるかじりツアーを受け持つております。一年前に農政部長に任命された時は、自分が先頭に立ち実行できるのか

通りにはいかない事も多々あり、テンパってばかりでした。その都度、盟友の皆さんから率先して動いてもらい、もの凄く助かりました。嬉しかったです。ありがとうございました。

自信が無く、本当に不安でした。以前までは、お手伝い感覚で参加協力していたので、「あくとした方が...」、「ここは、こうしたら良いのでは...。」と気持ちに余裕があり、周りに目配せして動けるものでした。しかし、責任者となると、プレッシャーで視野が狭くなり、いっぱいはいでした。事業当日は計画

予算も年々削られ、地域での役割等、皆さんの負担も増えていることと想われます。しかし、この二つの事業は、内容や形を工夫しながらも、続けていく必要があると思います。



7/27(金)田舎まるかじりツアー山居倉庫にて

活動を振り返って



経営部長としての一年も、間もなく終わろうとしています。

盟友の皆様には、経営部活動に協力して頂き、有難うございました。

経営部活動の一つである視察研修では、トマトの栽培方法や加工について学びました。

また、今後の農業経営に役立つような市場への流通方法なども視察することができ、満足しています。また、良質米コンクールも無事に実施することが出来ました。これも盟友の皆様が各事業に参加して下さいましたお陰です。

経営部長という貴重な経験をさせて頂き、盟友の皆様には感謝しております。今後、この経験を自分の糧にして行きたいと思えます。一年間、誠に有難うございました。

今年度を振り返って

総務部長 土門 康 記

今年度を振り返ってみると、あつという間に過ぎた一年でした。何もわからな

いままの総務部長だったの
で、不安からのスタートで
した。ですが、執行委員の

皆様と盟友のおかげで、何とか一年をやりきることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

出会いの場を提供する事が総務の活動だと思えます。盟友の皆様、これからも青年部活動に参加し、様々な出会いの中から多くの仲間を増やして下さい。

一年間を振り返って

広報「青虫」の編集・年間カレンダー作成と今年度もあつという間の一年でした。

多くの部員が参加してくれました。お陰様で会議では沢山の意見やアイデアが飛び交い、楽しくスムーズに編集ができたと思えます。

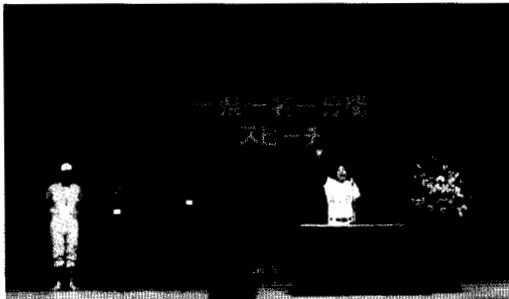
私は広報部を二年間務めさせて頂いたのですが、編集会議には前年度に比べ多

広報部の皆様、ありがとうございました。私自身も広

最後に、お忙しい中、原稿依頼にご協力頂いた皆様、大変ありがとうございました。



JA全国青年大会



平成25年2月14日、15日の2日間、東京都日比谷公会堂において第59回JA全国青年大会が開催されました。青年の主張全国大会の部では、一流石、各地域を勝ち抜いてきた発表者！—と思わされるほど、熱く、情熱にあふれた主張に圧倒されました。

本年度の大会のスロ—ガンは「つなぐ」。明るい未来のビジョンを持った盟友たちと「つながる」ことが、自分たちの可能性を広げることにつながると実感させてくれた2日間でした。

バケツ稲コンテスト

今年度もYOUTH・NETによるバケツ稲コンテストが実施されました。今年度、最優秀賞・優秀賞に輝いたのは、横須賀市内の小学校2校。

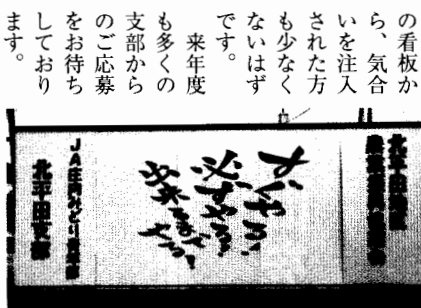
表彰当日は地元新聞社からの取材もあり、青年部の活動を広く知って頂くところとなりました。実際に小学校に表彰訪問された盟友の方も、「都市部の農業に縁遠い地域の子どもたちが、身近に農業を感じ取ってもらえるバケツ稲は、これからも続けていきたい青年部の取り組みです。半年間の労をねぎらいに表彰して、お互いの反省や工夫を話し合ってきました」と語っておられました。

また、「みんなのよい食プロジェクト」のHPでも、当事業が紹介されております。詳しくは、HPの「ヒント&コラム集」をご覧ください。



手作り看板コンクール

今年度も県青協主催の手作り看板コンクールが行われました。JA庄内みどりでは、8支部からの応募があり、JA山形県青年大会において、北平田支部の作品が優良賞に選ばれました。力強い言葉が描かれている北平田支部



の看板から、気合を入れた方も少なくないはず

です。来年度も多くの支部からのご応募をお待ちしております。

冬季盟友交流会

1月27日(日)、冬季盟友交流会が開催されました。今回で四回目となる本大会ですが、並居る強豪を抑え優勝したのは、剛腕を唸らせた中平田支部の尾形大介さん。決勝戦を短時間で終わらせた強さは、圧巻の一言でした。



連覇を成し遂げた盟友がいない本大会。来年度の大会を制するのは果たして誰なのでしょう。

あとがき

今回の「青虫」は今年度の総括という事でカラーでお送りしました。



平成二十四年度の青年部事業も成功に終わり、盟友の皆さんの活躍を年三回の発行でお伝えするのは大変な作業でしたが、とてもやりがいのある事でした。

残すところ通常総会だけです。今年度の良い形で締め括り、来年度よいスタートをきって行きますよう。

二十五年度も広報「青虫」をよろしく願います。

(広報部長 渡部 義則)

総会開催のお知らせ

日時

平成25年3月10日(日)

総会 14時00分～
講演会 16時00分～
懇親会 18時00分～

場所

JA庄内みどり酒田支店

講演

講師：衆議院議員
阿部 寿一氏

総会・講演会・懇親会への
多数のご出席
お待ちしております!!